

# 他力

— 住職便り —



第29号（令和四年十二月）

専徳寺住職 弘中満雄

## 【ネタとシヤリ】

お寿司すしの用語で「シヤリ」をご存じですか？  
そうです、寿司飯すしめしです。

この「シヤリ」は元々  
インドの言葉、仏教用語  
で「骨」を意味する「シヤリ」からきて  
いるそうです。髑髏どくろの別名「シヤリコウ  
ベ」とか、「仏舍利ぶつしやり」の「シヤリ」です。



寿司ネタ（魚肉）を支える白い寿司飯。  
同じく肉を支える白い骨から着想をえて  
寿司屋さんの符丁ふちよう（業界用語）になった  
のかもしれない。シヤリとネタの絶妙  
のバランスのお寿司。私は大好きです。

## 【舍利塔】

今から二千五百年前、お釈迦さまは80  
歳で今生を終え、涅槃ねはんに入られました。

涅槃の後、火葬をして、残ったお釈迦  
さまのお遺骨「舍利しやり」は、平等に八等分  
されました。そしてインド各地に  
「仏舍利塔ぶつしやりとう」（舍利塔しやりとう、ストゥーパとも）  
が建てられます。これが仏教のお墓の原  
点です。ちなみに日本の「三重塔」「五  
重塔」はこの舍利  
塔を意味します。

舍利塔はお釈迦



さまを拝むと共に、

生前、お釈迦さまが説いてくださったみ  
教えを聞く場所でもあります。「舍利しやり」  
は骨であって、ただの骨ではないのです。

## 【お墓の意味】

宗教によって「お遺骨」の意味は様々  
です。魂（御霊）がやどっているもの、  
生前の思いが残っているもの。悪い事が  
おきないよう大切にまつるもの等。

しかし仏教の場合、お遺骨やお墓は、  
「舍利（塔）」と同じ意味があります。  
故人のいのちを支えていたお遺骨を通し  
て、故人との思い出やご恩をかみしめ、  
故人が人生の支えとしたお釈迦さまのみ  
教えを、今度は私が聞く場所なのです。

浄土真宗のお墓は、その表に「南無阿  
弥陀仏」と書くように、阿弥陀様のご本  
願を聞く場所です。故人は天国でも冥土  
でもなく、お浄土で尊い仏さまになって  
おられるというお話です。そして他なら  
ぬこの私も煩惱まみれのまま、お念仏一  
つで、お浄土へ参らせていただきます。

## 【納骨堂】

先月から専徳寺は  
納骨堂の建設が始まりました。来年七月  
が完成予定です。



「お墓参りが難しくなってきました。」  
そんな多くのご門徒の声にこたえていき  
たいと思います。

専徳寺をあずかる住職として、この納  
骨堂をご縁に、いよいよお寿司のように  
念仏の教えを味わい喜ぶ方が現れる事、  
法座へお参りしてお念仏申すご門徒もんとが、  
ますます増える事を願うばかりです。